



真珠との調和が ネックレスを美しく演出。

新しい生命が息づく『たまご』をヒントにしたこの形は、自然が育んだ真珠との調和を可能にします。

また、両側のボタンを押したときだけにプラグが外れるセーフティー機能を搭載。デザイン性と安全性を兼ね備えたクラスプです。

※写真は左からEBS-201・EBS-204G DS7・EBS-202 DB3・EBS-202 DS3

●EBS-200 タイプ 珠サイズ：7.0mm～9.0mm



EBS-201



EBS-202



EBS-204

●選べる4種類のプラグ ※直結プラグを選ぶ際は、品番の後に『プラグ型番』をご記載下さい。

	従来のプラグ	直結プラグ		
		真珠との調和を崩さずネックレスを組める為、コンバーチブルな使い方にもおすすめです。		
	①ダ円カン付プラグ	②埋込式 プラグ型番:DB3 (真珠に穴あけ加工が必要です。)	③皿小 プラグ型番:DS3 (皿サイズ約6.5mm)	④皿大 プラグ型番:DS7 (皿サイズ約9.8mm)
品番	従来のダ円カンタイプで他のクラスプと同様の使い方でお楽しみいただく事ができます。	真珠に穴あけ加工をしプラグに直接固定するためクラスプとの隙間を感じない連組を行えます。	プラグの皿部分はプラグを持ちやすくする役目と真珠をガードする役目があります。またプラグの位置が瞬時にわかるのでスムーズな着脱ができます。皿サイズは小と大の2種類ございます。	

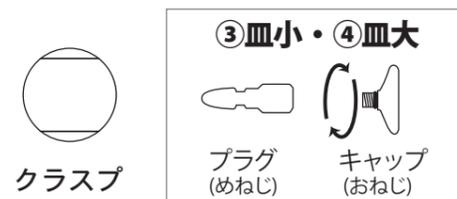
材質	本体:SV925 ダ円カン:洋白 プラグ:真鍮 内部部品:ステンレス
仕上げ	ニッケル下地 ロジウムメッキ 金メッキ

<注意>かぶれ等、皮膚に異常を感じた時はご使用を止め、速やかに専門医にご相談下さい。 商品写真はほぼ実物大の大きさです。

MEMO

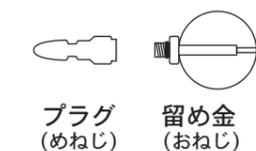
直結プラグの組み方

ご用意頂くパーツ(別売)



- ・ワイヤー/糸(線径φ0.4mmまでご使用頂けます)
- ・かみつぶしA(0.8mm穴)…主にワイヤー連組で使用
- ・かみつぶしB(0.6mm穴)…主に糸連組で使用
- ・かみつぶしC(0.45mm穴)…両方の連組でも使用できます
- ・ヤットコ、シリコンパッキン、ABボンド

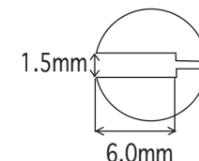
②埋込式



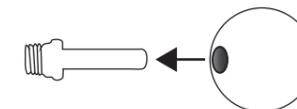
プラグ(めねじ) 留め金(おねじ)

※プラグおねじに真珠を固定してから連組して下さい。

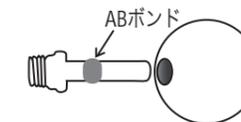
①穴あけ加工
真珠に幅1.5mm、深さ6mmの穴を開けます。



②真珠を固定
おねじに真珠を差し込み固定します。しっかりと固定したい方はABボンドをお使い下さい。



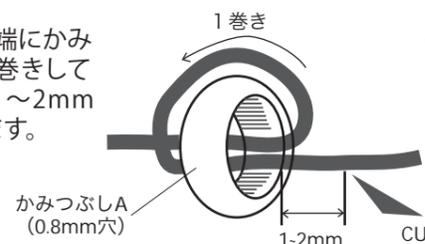
ABボンド使用方法



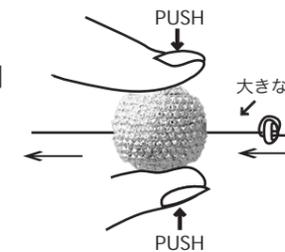
※真珠に直接ABボンドを付けないで下さい。

ワイヤー連組み

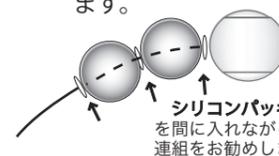
①ワイヤーの先端にかみつぶしAを1巻きしてかしめ、端を1~2mm残しカットします。



②かしめていない方のワイヤーを大きな穴側からボタンを両方押しながら通し、反対側の小さな穴へ貫通させます。

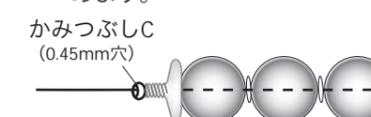


③ワイヤーがしっかり止まっていることを確認後、連材を通します。

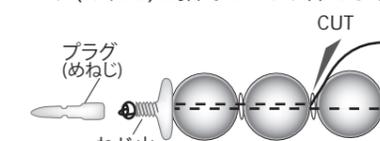


シリコンパッキンを間に入れながらの連組をお勧めします

④キャップ→かみつぶしCの順で通し、連材のつまり具合を確認後、かみつぶしCをかしめます。

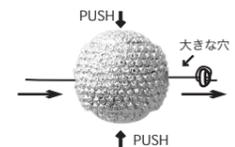


⑤余ったワイヤーを連材に戻し(1~2個)プラグ(めねじ)を指でしっかり締めます。



※プラグ外れ防止にねじ山にABボンドをつけ、しめて下さい。

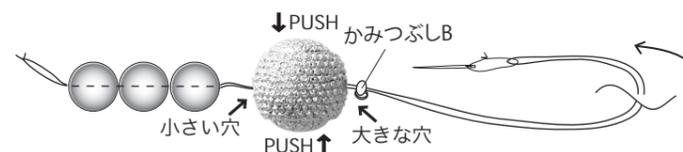
※組み直し
リフォームの際は



・ボタンを押しながら大きな穴の方へワイヤーを押し出して下さい。
・それでも出てこない場合は、小さな穴側のワイヤー根元をカットし、かみつぶしを外に出してからご利用下さい。

糸連組み

①糸に連材を数個通し、クラスプの小さい穴→大きな穴へ通します



②①と同様にかみつぶしBを1巻きし、かしめずに小さい穴へボタンを押しながら戻します

③通常の糸組と同様に連材間に結び目を作ります
連材を全て通し終えたら④と同様にキャップ→かみつぶしB(0.6mm穴)を通し、かしめずに連材へ戻り連材間に結び目を作ります

④プラグを指でしっかり締めます ※プラグ外れ防止にねじ山にABボンドをつけ、しめて下さい。

